

1. スクラップ業界で使用される車両系建設機械等

P1:スクラップカッタ装着仕様機



強力な切断力で、鉄骨・鉄筋などの切断処理作業にシャー装着仕様機

P2:大型シャー装着仕様機



強靱なカッターにより、大型対象物はもちろん鋼板などの硬質対象物も容易にこなす破砕力 金属リサイ

P3:専用機自動車解体仕様機



専用カッタ等により、シャー分解、ピラー切断やハーネスの除去作業

P4:自動車解体機(マルチ仕



トラックに装着している押さえ装置が左右にも動き自動車解

P5:自走式スクラップ処理機(2軸せん断機仕様)



ホッパに比較的薄物のスクラップ等投入し2軸せん断機で粉碎細分化処理を効率良く実施

P6:スクラップ処理機(グラブ仕様)

(ホイール式)



一般的にスクラップローダとも言う。雑多なスクラップの積込や移動を効率よく実施する。ロング仕様と標準フロント仕様

(クローラ式)



P6用アタッチメント



回転式グラブ

独立した油圧シリンダで対象物に合わせてスクラップの効率良い掴

P7:スクラップ処理機(フォークグラブ仕様)



長物スクラップの積込や移動に適している。先端は回転(ロータリ)式

P7用アタッチメント



回転式フォークグラブ 爪部(3本、2本)でスクラップの掴み作業を実施。360

P8:マグネット仕様機



鉄系スクラップの積込・移動として使用される。細かいものも磁石で吸着可能

(フォーク付き仕様)



たまに非鉄系スクラップ・長物スクラップがある場合に マグネットと裏側に配置し

P9:移動式スクラップ作業機(グラブ仕様)

(ホイール型・吊り下げ式)



アーム先端に1本ピンでグラブを吊り下げスクラップを効率良くハンドリングして移送する。ロングタイプが一般的である。走行装置はクローラ型とホイール式がある。ホイール式の場合通常車検は取れない。国内では移動式クレーンと見られる。



P10:移動式スクラップ仕様機

(マグネット仕様)



P11:固定式スクラップローダ

(2ピン式)



P12:固定式スクラップローダ

(1ピン吊り下げ式) (グラブ)



P13:バランス型スクラップローダ

(1ピン吊り下げ式・自律固定型)



P14:クローラクレーン



P15:マグネット仕様型クレーン



P16:クレーン機能付き



P17:ショベルローダー



P18:ホイールローダー



P19:フォークリフト

(3.5~4t級)

